

第12回 京都府古民家再生協会例会

平成24年3月24日(土)

19:00～京都府古民家再生協会ショールーム

議事録：藤川麻美子

参加者：円満字洋介、内山佳之、木村博、森博孝 奥田理事、藤川麻美子

1. 開会宣言

2. 収支報告

- ・北部例会では毎月会場を借り会場費及び通信費などの費用は、京都府会員の会で収支報告も合算します。
- ・北部例会は公の会場での開催とし、京都府例会は本部(中京区)で開催とする。
- ・残り2か月分の出費状況は、2011年度会費残が見込める、2011年決算報告後、次年度繰越しとする。

3. 全国全員大会 について

- ・事例発表紹介
- ・表彰者紹介
- ・地区会員大会への参加要請。京都府は近畿地区5月29日大阪会場参加。3月26日申込み期限ですが、随時京都府協会へ申し出てください。

4. 木のソムリエについて

- ・現在、全国に4名誕生し、既に「木のソムリエ」として活躍されています。
- ・4月14日「木のソムリエ」セミナー案内。
一般ユーザー向けで持続可能な循環建築をより理解していただけるセミナーを予定。1人でも多くの方にもご参加いただきたい。

5. 実技講習・古民家相談会のご案内

- ・明日25日開催です。現在12名参加申し込み。
- ・古民家鑑定士によるはじめて実技講習と相談会を行います。
→次回報告

6. グリーン建築の家「モクサンマチヤ」進捗（円満字設計士より）

来週確認申請が完了します。2月14日に最初の確認申請を出しましたので、約1か月が経ちそろそろという所です。4月23日上棟予定。

- ・16日地鎮祭を完了。天候が曖昧でしたが、木嶋神社の神主さんにお越し頂きました。
→（森鑑定士）儀式や習わしを見直すことが大切な時代だと思う。
- ・施主家族とともに吉野町の製材所へも行ってきました。
→建て主がご自分の家のありのままを1つ1つ理解いただいています。
また、子供にとっての住教育に通ずる。価値を知り世代を繋いでほしい。
- ・グリーン建築の家は「循環可能な資財」の活用が旨です。
- ・構造材は基本プレカットします。古材も使用するため一部手刻み。
→産地や品質などユーザーにとって安心がもてる。
- ・構造見学会は4月28・29日に開催できそうです。
現代に生きる京町家=モクサンマチヤ セミナー（4月14日）と合わせグリーン建築への理解を深めてほしい。

奥田理事

ご家族4人で吉野へいきました。最初、施主様は木を見ても違いが分からない様子でしたが、数時間経つと目が肥えてきたように思いました。お子さんもオオハシヤギで貴重な体験だったと思います。

地鎮祭も無事に完了しました。する方、しない方、いろいろありますがお施主様からしたいとお声をいただきました。お施主様にすると一生にあるかないかの体験でお子さんから「かっこいい～」という言葉があり、地鎮祭が始まると元気な子たちも静かにしておられ「子供ながらに分かっているのかな」と感じます。

改めて建築に携わる私たちが、習わしなどコトを見直していくべきと感じました。上棟式、施主様のご提案で「餅マキ」も希望されています。→調整中

7. 動的耐震、伝統資財施工士について

- ・動的耐震につきましては、まだ詳細が分かっておりません。
5月の地区会員大会でお話はあるかと思えます。
- ・動的耐震をする事で確認申請はおりののですか？
→新築というよりも、改修工事が主体。
- ・ストレステストを行うのですか？
→行われます。

8. 北部例会 報告

- ・ 3月16日に行いました。※別紙参照（北部議事録）
- ・ 2会場共、情報は同じ物とし報告は必ずすることとします。
- ・ 北部の古民家物件情報網を作り、購入希望者や移住希望者への架け橋役として、協会の役割を充実させることは可能か？
 - （内山鑑定士）古民家ならなんでもというのでは現実問題難しい。
 - 対策として移住希望者・永住希望者のニーズがある古民家を北部鑑定士が把握しておくことが大事では？
 - 都市部のニーズが解る鑑定士で北部空き古民家視察へ向かう。
 - *次回、北部例会で提案し審議する。

9. 京都2012年イベントについて

- ・ イベント予定（次回持越し）5月以降のイベント詳細を充実させる。

10. 質疑応答

11. 閉会

次回例会：平成24年4月25日（水）

※京都府会員の会設立1周年を記念し、4月14日（土）お花見会 開催予定
（桜の開花に合わせて開催日変更あり）